

サカイのセンパイ

堺市職員のロールモデル紹介



消防吏員

ライフスタイルに合わせて 希望する職域で活躍できる

係員の得意分野を活かせる仕事の回し方を

主に消防対象物の査察や違反処理、管内の建築物の確認・許可の同意に関する業務を行っています。市民の方々に火災予防について理解していただくためには広報活動も重要な仕事のひとつです。庁舎見学や消防訓練時に、火災の怖さや日頃から気をつけてほしいことを分かりやすく伝えています。役職者として、運営方針に沿って目標を達成



するために、いかに今のチームで最大のパフォーマンスを発揮できるかを考えています。また、係員それぞれの得意分野を活かすことができる仕事の回し方を心掛けています。

周囲の協力を得て、月に数回介護休暇を取得

課員のキャリア形成について上司である課長に伝え、課員を育成することも私の役割です。将来の目標に向けて楽しく仕事に取り組み、自信を持って昇任してもらいたいと思っています。日々の業務ではこれまでよりも創意工夫できることはないかを考えてもらうよう心掛けています。課員の異動や昇任時に「ありがとうございました」と言ってもらえたときには、一緒に涙を流して喜び合います。

私は消防局の職員で初めての出産・復職を経験しました。当時は手探り状態でしたが、現在は隔日勤務(*)からすぐに産前休暇を取得する職員もいるなど、結婚・妊娠について事前に相談し勤務形態などを調整することが可能な環境です。女性吏員も希望の職域で多くの経験を積み、個々の能力を発揮しながらライフスタイルを選択できる体制が整っています。私自身も、現在、月に数回介護休暇を取得していますが、退勤時には周りの職員が「帰る時間よ」と促してくれるなど協力してもらえることに感謝しています。

(*)隔日勤務とは、午前9時から翌日午前9時までを1勤務とする勤務形態のことです。



昇任の時期・各種休暇取得時期

平成13年7月～
平成14年3月
産前産後休暇・
育児休業

平成16年5月～
平成17年4月
産前産後休暇・
育児休業

平成27年
南消防署
消防司令
(係長級)

令和3年
大阪狭山消防署
消防司令
(課長補佐級)



PROFILE

山本 妃久子

平成10年4月採用

消防局 大阪狭山消防署
予防課
課長補佐

女性吏員のロールモデルとして 発信を続けた

私が採用された当時は女性の職域が限られていたため、消防吏員を続けるかどうか悩んだ時期もありました。しかし、自分自身が知識や経験を積んでステップアップすることで、後輩たちが納得のいくキャリアを描き、希望する業務で活躍できる職場になると信じて続けてきました。災害現場で活躍することだけがスタンダードではないことも分かってもらっていると今では感じています。時代に合わせて組織の受入体制も変化しています。新しい時代を創る皆さんを私たち先輩吏員が精一杯サポートしていきますので、市民の方々から信頼される堺市消防局と一緒につくっていきましょう。